

北海道胆振東部地震におけるDMAT活動

北海道胆振東部地震に対しDMATロジスティックチーム1次隊メンバーとして、9月7日から9月11日まで活動を行いました。活動内容はライフラインの復旧や、食料供給ルートに対するニーズが高く、その調整を行いました。救護保健医療調整本部では、会議本体の構築と医療ニーズへの対応と並行して、避難所や一般病院に直接赴き各施設のスクリーニングなどの活動も行いました。今回の派遣を通して自ら被災者でありながら支援にあたっている方が、避難所運営や増える病院業務に疲弊しているのを目の当たりにし、支援者支援の重要性を改めて感じました。



災害派遣にあたり、通常業務から離れる事で生じたマンパワー不足の中、頑張ってくれと快く送り出してくれた所属部署のスタッフの存在があったからこそ、良い支援が出来たと考えています。これは立派な後方支援であり、自分だけではなく外来看護科に所属する職員全員で支援を行ったと考えています。所属部署スタッフや関係者に今後も感謝を忘れず次回派遣に備えたいと考えています。

笛吹中央病院 外来看護科 吉村 仁志

技能実習生受け入れプロジェクト始動

平成29年11月「外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律」の施行により、技能実習制度に介護職種が追加となりました。この制度は国際貢献が目的であり、日本の介護サービスを学び、母国に役立ててもらうことが役割となります。

AMGグループもこの制度を活用した取り組みを行うため、プロジェクトチームが始動しました。受け入れのモデル施設として、2病院(白岡中央総合病院・越谷誠和病院)2老建(エルサ上尾・ハートケア東大宮)が



決定し、次年度の入国に向け準備がスタートしております。先日、ベトナムに赴き技能実習生と面接を行い、12名の内定者が決定しました。次年度には入国となり、4施設にて研修が開始されます。初めての取り組みとなるため試行錯誤ではありますが、AMGの介護のすばらしさを学んでいただき、母国の介護の発展に寄与できる人財の育成に繋がる様、今後も活動を続けてまいります。

ベトナム国は親日として知られており、日本人との共通点も多いといわれています。とても素直で、まじめな印象のある人柄はきっと、日本人にも受け入れていただけると感じております。今後ともこのプロジェクトをご理解いただくと共に、ご協力の程、宜しくお願いたします。



AMG 協議会 看護局長 林 勝枝

上尾中央看護専門学校より

「リレー・フォーライフ・ジャパンより感謝状をいただきました！」 🍊🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌

9月8日(土)・9日(日)にさいたま市で開催された“がん患者とその家族を支援するチャリティイベント”「リレー・フォー・ライフ・ジャパンさいたま」に、上尾中央看護専門学校の教員と3年生(約30名)が実習の一環として参加し、主催者の運営のお手伝いをしました。今年で10周年を迎えたこのイベントに1回目から参加している本校は、「グッドサポーター」として感謝状を頂きました。



「初めてチャリティーイベントに参加して」

RFLさいたまが始まって以来、先輩方が積み重ねてきたことを引き継ぎ、今回、記念すべき10周年に看護学生として参加できたことは私自身、とても嬉しく思います。

私は、「がん」=「孤独」という暗いイメージがありました。しかし、2日間のボランティア活動を通して、サバイバーさんがこれまでのことを感じさせない程、お元気で笑顔の絶えない方ばかりでした。みんなでがんを闘おうと支えあい、前向きな気持ちで日々生活されていることを知り、がん患者様に対する見方が変わりました。

来年から病院に勤めますが、患者様が1日でも早く、お元気になって社会復帰ができるよう支えられる看護師でいたいと思います。



上尾中央看護専門学校 第一学科 千葉 美紗希